



第78号

2006年4月1日発行

(財)駒場松桜会
都立駒場高校同窓会

〒153-0044
日黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内
電話03-3466-7579

『偉大な教え手、大村はま先生』
— 中学での出会いが人生を決める —
羽島知之(駒6)

平成17年4月17日、98歳で亡くなられた大村はま先生の訃報は、全国の新聞に大きく報じられました。

先生は戦前の高等女学校から戦後の新制中学まで52年間も一教員として国語教育に携わり、73歳での退職後も著述や講演・メディアを通して、新しい指導案などを提案し続けてこられました。亡くなる5日前にも「話す力」「聞く力」を育てるための手法についてNHKのテレビ番組の収録を終えたばかりでした。



そんな大村先生との出会いは昭和24年千葉県の疎開先から東京に戻った私が目黒八中に転入した時にさかのぼります。1年の3学期から卒業して都立駒場高校に進学するまで、クラス担任であると共に国語の授業を受けました。不思議なことにこの中学での出会いが今日に至る私の人生を決めることになったのです。

もともと新聞が大好きだった私は大村先生に相談、ご指導のもとにガリ版刷りの学校新聞『八中読売』を創刊させました。戦後間もない時期で教科書用紙もままならなかった時代でしたが、先生は校長と掛け合い新聞用紙を工面して下さいました。その翌年先生が独創された単元学習で「新聞」がテーマになり、新聞記事の書き方や紙面の割付などを学びました。私は新聞の種類を調べることにになり、全国で発行されている新聞題字を集め、大きな日本地図に貼り付け

を発表しました。これが縁で私の新聞資料収集がスタートし、以来60年近く現在に及んでいます。そのコレクションは江戸時代のかわら版や、幕末・明治時代からの新聞や号外、関連資料など

こでもガリ版刷りの学級新聞『3日タイムス』をクラス仲間と発行、2年次からは「駒場高校新聞」を発行していた生徒会新聞局を統括する管理委員会の委員長として新聞にかかわり、また『選挙公報』も発行、1年後輩で生徒会副委員長に立候補して当選した張富士夫少年(駒7、トヨタ自動車を世界一にした現副会長)も顔写真入りで紹介しました。

大村先生とは中学卒業後もクラス仲間と「おはま会」を発足させ、毎年先生の誕生日をはじめ、年数回の集まりを53年間もご一緒に楽しんできました。そんな集まりでお会いする度に先生は「資料はどうなっているの、早く公的な資料館のようなものを作らないとね！火事や地震が起きたら大変なもの」と心配して下さいました。

昭和26年、駒場高校に入学した私は1年3ホームになり、その



た書庫も満杯になり、隣接する母屋の空き室や押入れなど全てに及ぶようになりました。そんな折、全国の新聞社を会員に持つ日本新聞協会から2000年秋横浜にオープンさせる新聞の博物館構想に協力して、という要請がありました。

「新聞のことなら何でもわかる」をテーマにした日本新聞博物館は、わが国日刊新聞発祥の地横浜に予定通り開館、私の資料は歴史ゾーンや企画展示などでフルに生かされました。このときにも「よかったわね、おめでとう」と誰よりも喜んでくださったのも大村先生でした。(2頁へ)

06年度 総会 講演会のお知らせ
日時 5月27日(土)
会場 駒場高校第一会議室
総会 13時
講演会 13時30分
講師 羽島 知之氏(駒6)
『偉大な教え手、大村はま先生』
— 中学での出会いが人生を決める —
略歴 三栄広告取締役
日本新聞博物館特別専門委員
東洋大学理事を経て、
現在東洋文化新聞研究所代表
終了後、講演者を囲んで
茶話会の準備を致してお
りますので、是非ご参加
下さい

ホームページ <http://www.komaba.or.jp> メール komaba999@komaba.or.jp

そして、開館間もない博物館に「おはま会」の仲間と、翌年は「国語研究会」の皆さんをつけて2度も来館してくださいました。大村先生「見学の様子は、各々翌日の新聞に報じられました。だが、その見出しには「教え子のコレクションに大村はまさん目をまん丸に」などと書かれています。半世紀たった現在に至るまで、教え子のことを思いやる大村先生には実の母以上の愛情を感じていました。

亡くなった先生を記念する会合は17年8月に横浜市の開港記念館に各世代の教え子、同僚、研究仲間、伝えてきたメディア関係者など約500名が集まって開かれましたがこの日の総合司会は駒場幼稚園理事長の藤井チズ子氏(駒3)、そして展示会場の責任者が大正大学教授の安居総子氏(駒4)と松桜会の仲間、いずれも大村先生と深いかわりを持つ方々で不思議なご縁だと思いました。

本稿はその一端を紹介しましたが、5月の松桜会総会ではこの偉大な教育者・大村はま先生との心温まる話を中心に、新聞博物館の魅力、加えて折角の機会です。「日本の新聞事始め」などを話させていただきました。

なお、会場には大村先生関連やかわら版から草創期の新聞など、貴重な資料の現物も展示いたします。ぜひこの機会にご高覧下さい。

「日本新聞博物館」を訪ねて

平成17年12月22日、松桜会会員8名で横浜にある日本新聞博物館を訪ねました。

羽鳥さんが案内役を引き受けて下さるということで期待を胸に、当日はみなとみらい線日本大通りで下車、駅から直結されている博物館のシンボルである輪転機の前でお会いしました。その大きさに驚きながら2階で企画展示「共同通信60年展」を、3階の「歴史ゾーン」では江戸末期のかわら版から始まり、明治・大正・昭和と時代を映しながら現代へと発展してきた百年以上にあたる新聞の道のりを羽鳥さんに説明いただきました。

同じ階の新聞製作工房では紙面作りが体験できるということ、早速パソコンに向いました。新聞に入れる写真を撮ってもらいます。今日の新聞の枠が作られており、見出しと一言と編集者名を入れ「新聞づくり楽しく挑戦」が終わりました。慣れない



いことで、見出し一つにも悩みましたが、スタッフの方々のアドバイスを頂き、なんとか完成にこぎつけました。

ここでお昼になり、近くの横浜中華街で羽鳥さんの行きつけの「菜香」にいき、丸い卓を囲みながら美味しいランチをいただきました。

午後は5階の現代ゾーン。新聞社の各部の仕事、取材や編集など分かりやすく展示されていました。取材用の小型機「はやて」がおかれてあり、皆で順に乗り込み、取材記者の気分を味わいました。

また、新聞が印刷され、私達の家々に配達されるまでの模型の展示では、いかに速く、正確にという努力に感心させられました。新聞を積んだ重い自転車をこいで配達するというゲームにも挑戦しましたが結果は散々たるものでした。毎日当たり前のように読んでいた新聞が作り手の息吹が感じられる身近な物に感じられました。

(高島)

嗚呼！佐藤浩子先生

こまばさざえさん
旧職員 菱刈隆永



昭和25年4月、駒場高校に赴任した私は、日本史担当で3年(駒3)付きだった。教員室の私の机は、鈴木(菊雄)・大西・木村・佐藤・杉村・豊田の六先生の担任団の隣で、豊田先生は殆ど体育教官室なので、一つ机を置いた隣が佐藤先生の机であった。

それから、佐藤先生が駒場を去られるまでの20年間、佐藤さんとは駒5の3年生で1年間、駒12と駒21ではそれぞれ3年間、計7年間一緒に担任団であった。また、駒9の1年の体育科の担任に私が任命された時、2年(駒8)の体育科の担任に佐藤さんが任命され、佐藤さんは3年まで持ち上がった。一つ年上の佐藤さんとは気が合って、一緒に担任をしようとして誘い合って楽しく学年を一緒に過ごしたのだった。いつの頃からか、佐藤さんは、駒場のサザエさんと愛称されるようになったし、

サザエさんは私のことをガリさんと呼ぶようになった。

慶應大学の通信教育を受けて、教員の1級免許を取られたので、数人の仲間でお祝いし佐藤さんがたのしく酔ったことを思い出す。駒場転出後、サザエさんは、世界を股に旅行して、その先々から葉書をもらい、私を羨ましがらせた。退職後は、佐々栄古典教室を開いて卒業生(駒3中心)と、枕草子・紫式部日記・和泉式部日記・大鏡・伊勢物語・梁塵秘抄を20年余講読され、晩年の最高の楽しみであったという。

一昨年夏、左の和歌の作者について質問したところ「暑さ見舞を有り難う。私は一寸へこんでいます。さざえ教室も休みです。藤原為頼、中納言兼輔の孫、刑部少輔雅正之男、母右大臣定方之女也。歴任為右近中将、叙従四位下、仕至長徳二年。拾遺集五首、後拾遺集二首、千載集一首、新古今集一首」と教えて下さった葉書が、私への絶筆となった。

世の中にあらましかばとおもふ人なきがおほくもなりにけるかな
3月2日ご他界の夫君を追うように21日自宅でご永眠。前日ご家族と昔の唱歌を歌われたとか。正に大往生！
学年会で佐々栄さんに会えないと思うと、たまらなく淋しい。

合掌！

張富士夫氏(駒7) 特別講演会



日本列島が寒波の襲来をうけた寒さ厳しい12月16日(金)、張氏はお忙しい中を母校にいらして下さいました。

校長先生のご紹介を受け、学校の先輩として、人生の先輩としてお話をしましょうということ

で、講演会が始まりました。女学校とも知らずに入った駒場での友人との出会い、担任の則行先生との出会い、剣道(北沢警察の方)との出会い、その剣道で身についた挑戦心で受験した東大の法学部との出会い、そして東大の剣道部で試合に行ったトヨタ自動車工業(株)との出会い。興味も知識もなかった自分が、さまざまな出会いで、人生が決まっていた。運動で

も勉強でも一生懸命やれば何とかなり、成長して、それが自信となった。60年間生きて来てわかったことは、世の中は必ず、変化するものであるということであった。名古屋の田舎に就職していった者が、急に転勤でアメリカへ行き、また東京へ転勤となり、先のことは全く解らないと思った。何が起きても困らないように勉強することが最も大事なことで、アリとキリギリスの話のようにアリの努力は、必ず先のための投資となり、糧となる。先輩から教えられた「ものに動じない」(不動の心)が信条となったと話された。この講演会では、日本の企業(否、世界)のトップの方から示唆に富むご自分の体験を基にいろいろと解りやすく、楽しくお話し頂き、他校ではとても得られない機会です、生徒たちにはさぞ感銘を与えたことと思います。

(此本)

【略歴】

張 富士夫(ちよう ふじお)

昭和12年 東京生まれ

昭和30年 駒場高校卒業

昭和35年 東京大学法学部卒業

昭和35年 トヨタ自動車工業

株式会社入社

平成11年 同社 社長

平成17年 同社 副会長

(現在に至る)

・新・入・会・員・よ・り・



駒58-2 金山 亜以

駒場高校での3年間は、私にとって、非常に中身の濃い3年間でした。

楽しむ時は存分に楽しみ、やるべき事はしっかりとやるというメリハリのある生活を送れたのは、駒場に入学したからこそ、だと思います。皆それぞれが、勉強や部活に一生懸命取り組み、学校全体



駒58-4 岡田 亮太

今、自分は駒場高校の生徒で本当によかったと思っています。入学してからの3年はあつという間に過ぎてしまいました。多くのことを経験し、学ぶことができ、とても充実した高校生活でした。駒場高校だったからこそ、こんな素晴らしい高校生活を過ごせたのだと思います。部活動では日々練習に打ち込み、サッカー以外でも人として学ぶことが数多くありました。あの

に良い空気が常に流れていたように思います。

私自身も、ESS部での活動を通して、良い友達と出会い、またプレイコンテストへの出場に向けて、部員みんな練習に励むという忘れられない経験をしました。

このような校風を築いて下さった先輩方、先生方に心から感謝をしたいです。そして、後輩の皆さんには、この素晴らしい校風を守って欲しいと思います。

卒業後も、駒場の卒業生としての自覚を持ち、また、駒場で学んだ数々のことを活かして、今まで以上に成長していきたいです。

仲間たちと一緒にサッカーができたことを本当に誇りに思います。

学校行事では、みんなで協力して一つのものを創り上げていくことの素晴らしさや、仲間の大切さを学びました。文化祭は、何もないところから一つずつ創り上げていき、衝突することも何度かありましたが、成功で終わらせることができた感動は忘れられません。こんな素晴らしい仲間たちに出会わせてくれた駒場高校に感謝し、一度きりの高校生活を駒場で過ごせたことを本当に嬉しく思います。

これからも駒場で学んだ一つ一つを忘れずに、駒場高校の卒業生として誇りを持って頑張っていきたいです。



駒58-保体 本村 彩

駒場高校で過ごした3年間は私たちにあって、かけがいのないものとなりました。今、思い返してみると本当にたくさんの思い出があります。

保健体育科生だからこそ経験することができた3度の実習や実技発表会を通して、様々なことを学んできました。何かをやり遂げる度に友情は深まり、一步一步前進していく、そんなクラスでここまで成長できたことを心から嬉しく思います。

こんなに充実した高校生活を送れたのは、いつも熱心に指導して下さった先生方や駒場の良き伝統を築いて下さった先輩方、何かある度に支えてくれた仲間や後輩、そして何よりもお父さん、お母さんのおかげです。心から感謝しています。

これから私たちは新しい世界へと飛び込んでいきますが、駒場で学んだこと、一つ一つを忘れずに、今後更なる成長に向かって頑張っていきたいと思っています。



2005.10.25

松桜会創設一〇〇周年記念

コチロン大会終わる



05年10月25日(火)、母校の第1アリーナをお借りして、駒場松桜会創設百周年記念のコチロン大会を開催することができました。3年前の母校創立百周年のコチロン大会で、アリーナに集まった同窓生、お客様そして在校生も交えた1000人を越すコチロンの輪に感激! 夢よう一度の思いでいっぱいでした。

お客様として池間先生(元日本女子体育大学教授、フオークダンス界の重鎮)、東京女子学館同窓会、白菊会の皆様をお迎えして、優雅なカドリールを踊っていただきました。

最後には中間試験を終えた在校生も加わり、10組を越すコチロンの輪ができました。

今回特筆すべきことは、ビデオ撮影を行えたことです。コチロンを映像にすることは長い間の夢でしたが、今回、プロのカメラマンにより、大会の全容を撮影することが出来ました。また、コチロンの模範演技となるよう、コチロンを踊る会のベテランによるデモンストレーションを、各段毎に(5組)集中撮影し、独立編集致しました。DVD化した映像は、各段毎に見たいところをとり出せますので、初心者の方にも参考にしていただけるものとなる予定です。併せて、音楽もCD化し、長期保存を図ります。また、かつてコチロンがアジア大会に出

場した際、練習の参考にと、石川先生が作られたという、コチロン解説図も整備し、わかり易く改訂しました。

映像と音楽と解説図の3点を整え、コチロンを長く次代に伝えてゆきたいと考えております。

●コチロン大会の映像は、ビデオは1000円、DVDは1200円(送料別)でお領ちできますので、ご希望の方は松桜会までお申し込み下さい。
(高橋陽)

在校生と一緒に踊りました



東京女子学館の皆様



優雅なカドリール

にぎやかに懇親会



◆どうぞご参加を◆
コチロンを踊る会

毎月第3火曜日(除く8月・12月)午後2時~4時 母校生徒ホール
毎月第1木曜日(4月~9月・除く8月)午後2時~4時(5月のみ第2木曜11日)
駒場幼稚園ホール ※上履を必ずご用意下さい。

鳥居 清光氏 (駒8) 黄綬褒章受章



昭和54年4月 歌舞伎座絵看板の制作を担当
昭和57年11月 鳥居派9代目宗家襲名
昭和61年 エイボン芸術賞受賞
平成8年1月 日本演劇興行協会賞受賞
平成10年11月 文化庁長官表彰
平成16年 ニューヨーク展開催

平成17年春の叙勲で鳥居清光さん(駒8)が黄綬褒章を受章されました。8月28日に駒8回生の有志が発起人となり、「鳥居清光さんの黄綬褒章受章を祝う会」を九段会館において開催し、200余名が集いました。松竹の永山武臣会長(代理我孫子正専務)をはじめ、歌舞伎界のみならず、狂言の野村萬氏、前進座の中村梅之助氏など来賓としてご出席いただき、清光さんのお人柄、お仕事振りに改めて感動いたしました。

黄綬褒章は一つの仕事を長く続けて功績のあった方に与えられる褒章で、清光さんは「これは私一人ではなく、先祖から受け継がれてきた仕事を誉めて頂きたい、大変嬉しい」とおっしゃっておられました。中村梅之助氏のお祝いの言葉は清光さんのお父様のことでも交えた慈愛深いことばで、清光さんも感無量だったことでしょう。高校時代の恩師小山清雄先生もお喜びが全身に溢れているのがとても印象的でした。

岡 道子(駒8)

歌舞伎座の絵看板や国立劇場の舞台装置などでも活躍中の清光さんは輝いていました。「百歳までも描く!!」と宣言された清光さん、大いに期待しています。

同窓生 spirit

まだ日本人が欧州で暮らすことが稀な時代にヨーロッパでお料理やお菓子を学ばれた眞崎敏子さん。本格派の洋風家庭料理をわかりやすく紹介し、その味は定評あり。都内で料理・菓子教室を主宰。



第三流料理修行

眞崎 敏子(第三・45)

1950年代の終わりから1960年代の初めにかけて、私は英国のロンドンとドイツのフランクフルトに住んでいました。それまで、閉ざされていた外国との門が僅かに隙間を開けた時代だったと言えましょう。私は今まで見た事も無いイギリスやドイツの文化、伝統、習慣、物の考え方、などを知りたいと思い、その手段として料理をテーマに選んでみました。生来の食いしん坊が幸いして一度食べれば忘れない、またイギリス人との話の中で食べ物に関することは「すぐ調べる」という第三流に助けられ、かなりの知識を得ることが出来、コードンブルードン校で料理を、ドイツのザビニーホテルでお菓子作りの修行をしました。何しろ製菓部の始業時間の、朝6時は冬は真っ暗、子供は小学4年と1年ですが、目覚ましを各自の枕もとに置いて朝食を用意してしのび出ます。ザビニーの職人さん達は、男ばかり6人の内、2人は14、15歳の小僧さんで9時にはもう殆どのお菓子とパンが出来上がっています。香りがつかないように化粧気

なし、黒い髪がケーキの中に入らないように、頭をしつかりと布で巻いて。眞崎が来たから助かったと言われるように(このあたりも第三で仕込まれた心がけ)とプラムやさくらんぼの種抜きなどは爪が黒くなるほど、ポケットには手帳を持って、すかさず記録をとるようにして覚えました。製菓部は1時に終業、小僧さん達はそれから職業学校に行きます。子供達は1時に下校して来ます。昼食、午後は夕食に來られる来客の食事作りなど、と申しますのも当時は出張で日本から來られる方も500ドルしか持ち出せないの、出来るだけ旅費を浮かせる為に食事を差し上げることが多く、勿論ドイツの方をお招きすることも多々ありました。また、別の日には小僧さん達の行く国立職業学校へ行って、見学し、ドイツの教育制度を理解したりの日でした。日本に帰国し、料理の雑誌に書いたり、NHK、TV「きょうの料理」に15年間出演するうちに多くの編集者やアナウンサーの方々とお会いする機会を得ました。仕事がスムーズに運んだり、意見が妙に一致するなーと思うと駒場の出身者だった。第三でも、駒場でも共通の人間形成がなされていることを喜ばしくも痛感し、第三流好奇心を持ち、頼もしい後輩に支えられて仕事を続けております。

2005/12/10

東京オペラシティ リサイタルホール

18年度松桜会コンサートはお休みなします

松桜会コンサート

北川靖子(妹)さんのヴァイオリンとともに



植村インタビューの巧みな話術に会話もはずんで



北川暁子さんの素晴らしいピアノの音に魅せられて



～ピアノのある家 姉妹で奏でるメロディー～

北川暁子(駒15) ピアノリサイタル

今回はピアノ界のベテラン北川暁子(ピアノ)、北川靖子(ヴァイオリン)姉妹をお迎えしてのリサイタルを恒例となった初台のオペラシティ・リサイタルホールでほぼ満杯のお客様の温かい雰囲気の中で開催しました。

1年先輩にあたる暁子さんが当時高校生の分際で?既にリサイタルをなさっていたと言うことは、同じ高校生にとって、また地方出身者にとっては驚異で、ショックに近いものがありました。

普通そんなエリートであるならば、駒場→芸大とコースは決まっているような気がするのですが、そこがエリートたる所以、彼女は師事なさっていた教授のもと、武蔵野を選ばれた。卒業後は更にウィーンでの研鑽を積むべくオーストリア国立ウィーン音楽アカデミーに留学され、後は皆様も周知の通りミュンヘン国際コンクール第2位(1位なし)を初め、素晴らしい成績を納める事になるのです。

今回久しぶりに暁子さんの演奏を聴かせて頂く機会に恵まれ、当時の暁子さん健在どころか更に磨きのかかった円熟の境地を聴かせて頂き、また妹靖子さんとのデュオも楽しく、一般のお客様に馴染みのあるメロディーの数々をリクエスト、演奏して下さいました。ベートーヴェン、ショパン、リスト、デュオではクライスラーの作品と副題にありました様に、正にピアノのある家・姉妹で奏でるメロディーに客席も至福の時に出会った、満身に浸り切った空気を感じられる演奏会でした。

声楽家 門屋 留樹(駒16)

掲示板

◆原田とみ子(駒2) 声楽リサイタル
2006年5月5日(金) 14時～ 津田ホール(千駄ヶ谷駅前)

◆第19回合唱曲集を歌う会
2006年5月13日(土) 13時～16時 駒場幼稚園(スリッパ持参)
係 新井(03-5701-0194) 鈴木(03-3414-9723)

◆女声合唱団フライズィン(Freisinn) 定期演奏会
2006年6月20日(火) 19時～ みなとみらい小ホール 無料
出演:女声合唱団フライズィン 指揮・ピアノ:門屋留樹(駒16)
ジプシーの歌(ブラームス)・わたしは風・Ave Maria・世界の名曲etc.

◆“第10回チャペルコンサート”会堂改修完成記念
～人生はクラポップ～ 歌・お話:Mecki(門屋留樹)(駒16)
2006年7月30日(日) 15時～
芦屋山手教会 Tel 0797-22-3218 ¥1,000(コーヒー・ケーキ付き)
・申し込み先:Tel 078-861-8659 澤山寛子

◆目黒区合唱祭
2006年10月14日(土) 12時～ パーシモンホール(都立大) 無料
出演:KOMA-KON(都立駒場高校OB・OG混声合唱団)etc.
指揮・ピアノ:門屋留樹(駒16)

◆“歳末助け合い運動参加・チャリティコンサート”(仮)
2006年12月2日(土) 14時～16時
オペラシティ・コンサートホール(大) タケミツメモリアル
出演:司会:朗読 加賀美幸子(予定)・Komaba Symphonik 21(仮)
指揮者:(未定)
募集:合唱団員及びオケ(参加は自由ですが、第9合唱経験者優先)
後援:(社法)朝日新聞社厚生文化事業団etc. ★スタッフ募集
Tel/Fax:03-3466-7311 お問い合わせ:山内成将(駒15)

都駒祭 2005.9.18～19



例年通りお休み処と展示を行いました。両会場とも百名を超える来場者があり、感謝でした。今年初めての催しとして、仰光寮にギャラリーを作り、絵画講座の力作をイーゼルに立てて並べ、皆様に見て頂き、好評を拍しました。



母校生徒の活躍

サッカー部

TEATリーグU18 第3位
全国高校サッカー選手権大会

Aプロックベスト8

男子バスケットボール部

国体選抜本戦 柳谷昭雄 優勝

女子バレーボール部

ビーチバレー
女子ジュニア選手権

池田弥生・大場しほ子 第3位

陸上部

インターハイ出場

男子110mハードル 草野広大

女子100mハードル 中澤景子

関東選抜新人陸上大会出場

三段跳び 近藤宏則

走高跳び 久保田茂寛

走高跳び 長明日香

水泳部

インターハイ出場

男子400mリレー・800mリレー

女子400mメドレーリレー

男子100mバタフライ 広重健太郎

柔道部

東京都高等学校学年別大会

83kg級 富田真央 準優勝

岡田由佳 第3位

83kg超級 峰松春奈 準優勝

剣道部

インターハイ出場 立田佳奈

第四支部大会男子個人

中村敬仁 優勝

体操部

関東大会出場 市原雄一郎

演劇部

東京地区大会入賞 中央大会出場

新しい世紀に入った松桜会

同窓の輪をひろげよう!

都立駒場高等学校の同窓会である財団法人駒場松桜会も、昨年の創設百周年の記念事業をすべて終了して、いよいよ新しい世紀に入りました。

今後は、その伝統の輝きを保ちつつ、同窓会を一層活性化していくことを目標に、様々な計画を立てて、会員相互の親睦を図っていきたくと考えています。

まず、毎年5月に開催している松桜会の総会や、9月に2日間行われている母校の学園祭への参加を、同窓生の交流の場として提供していくことを考えています。

その第一歩として、平成19年度の総会を、従来より、総会と講演会という組み合わせをさらに発展させて、同窓生の交流を促す会にし

ていきたいと思っております。企画立案、実施などご協力いただける方は、FAXやお手紙で、松桜会までお申し出ください。会員の皆様のご希望やご意見を諸活動に反映させていきたいと思っております。

従来、卒業時に各ホーム2名のクラス幹事を選んで松桜会にお名前を届けていただいていたが、松桜会側からの具体的な働きかけがないまま過ごして来まして、現行の名簿には各ホームの幹事名は記載されておりません。

また、長い年月の間に交替されている場合も多く、松桜会でお名前を把握していない学年も多いので、この際、学年幹事、クラス幹事の方は松桜会までぜひご二報ください。

☆☆同期会開催のお知らせ☆☆

◆駒8 本年は我々駒8の卒業50年の節目の年であり、今秋にはかつてない程の多数参加の同期会を実現したい。また、松桜会活動においても同期から新理事長が出たことから、従来にも増して各行事への積極参加により「駒8」の元気ぶりを先輩、後輩の方々にアピールしたい。 中村昭(駒8)

◆駒14紫陽花会 駒14の有志の集まりです。初めての方も大歓迎。 日時 6月24日(土) 12時～ 場所 楽園菜館 目黒区鷹番1丁目2-6 TEL 03-3793-2271 会費 6,000円 連絡先 安中みな(2H) (株)アスペクト TEL 03-3710-2877 FAX 03-3710-2811

◆駒24 日時 6月10日(土) 14時～ 場所 ホテルセンチュリーハイアット東京 「平安の間」

同期会の報告

すでにお名前をお知らせいただいている幹事の方には、後日お問い合わせの連絡を差し上げますので、ご協力ください。なお、松桜会にお知らせいただいた学年名簿などの個人情報、松桜会活動以外の目的には使用いたしません。 同期会やクラス会などの開催を予定している幹事世話人の方は、松桜会会報紙上で開催のご案内をしたり、会報送付の際に案内状の封入、宛名シールの作成(有料・現在14名分70円)のサービスも行っていますので、事前にぜひ松桜会にご連絡ください。会報9月号の締め切りは7月10日です。 同期会のご報告もお待ちしています。 駒場松桜会は、皆様の同窓会で。これからも同期会やクラス会をバックアップしてまいります。(石澤)

駒53初の同期会を1月22日(日)に開催致しました。

一次会には、担任の先生方を始め11名の先生方に参加して頂きました。軽食を囲み懐かしい母校の生徒ホールで楽しかった高校時代に戻ったようでした。二次会は、場所を移しての宴会でした。一次会に参加できなかった同期も加わり、先生方も含め100名以上が顔を合わせることが出来ました。 卒業後5年を経て、社会人と学生が混在した同期や、定年を

過ぎ一度退職されても 教鞭をとられていた田中先生などのお話を伺うことができ、今後の礎となる同期会となりました。 中田久美子 (駒53)



記念文集

駒5の古希を記念した文集「祐紀」ができました。ご希望の方は、今村(0423215771)にご連絡を。送料込500円です。 祝光一郎(駒5)

駒場松桜会新役員

評議員 木暮 徳子 駒24 平原 智駒25

寄付者芳名

- 鎌倉支部 高等科19西 故 眞野鞘子(第三17中) 故 山本まさ子(第三29) 山本玉枝(第三28) 上田早苗(第三31) 小貴房枝(参与) 三澤真砂代(駒3) 豊田真佐子(駒20) 森田恒芳先生 平成17年1月15日 死去 鮎澤真澄先生 平成17年10月28日 死去 田村 泉先生 平成18年1月22日 死去

訃報

平成18年度(上期)松桜会講座のお知らせ

- ◎対象者 駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員
 ◎申し込み方法 往復はがきで松桜会事務局へ〒153-0044目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内
 1講座は1枚のハガキでお願いします(返信ハガキにはご自分の住所もお書き下さい)
 松桜会会員は講座名 住所 電話 氏名 卒業年度を
 母校教職員は講座名 住所 電話 氏名 所属名を
 母校PTA会員は講座名 住所 電話 氏名 ご子弟の氏名・学年・クラスをお書き下さい
 ◎受講料 各講座に記載の金額を第1回の出席時にお支払い下さい
 ◎会場 都立駒場高校教室

4/70
締め切り

A 講座

漢詩鑑賞Ⅱ

●講師 ^{やすい}安居 ^{ふさこ}總子(駒4)

内容 前回は李白、杜甫を話題にしながら、周辺をなぞるような形でお話をしましたが、今回は漢詩そのものを鑑賞することにします。テーマは次の5つ

1. 四季をよんだ詩
2. 旅情の詩
3. 望郷、人をおもう詩
4. 別れのうた
5. 愛の表現

朗唱漢詩漢文 第1集と第2集

略歴 東京教育大学文学部漢文専攻卒 中学校国語教師35年
 岐阜大学教育学部・大正大学教授
 国語教育の中道をめざして現在も活躍中

定員 45名

受講料 2,500円 テキスト代1,000円

会場 会議室

日時 5/6(土) 6/3(土) 6/10(土) 7/8(土)
 7/29(土)
 13:30~15:00

B 講座

鎌倉再発見の散歩

●講師 ^{さかい}酒井 ^{ユリ子}ユリ子(駒6)

内容 鎌倉40年在住者と一緒に、鎌倉の住宅地の生活道路等を歩き、心引かれる街の風景を発見しながら、古寺・社等を訪れる。小雨決行。

1回・長谷への文学散歩

(大谷美術館前—光則寺、長谷寺等)

2回・金沢街道から大町へ(杉本寺—浄妙寺、釈迦堂口等)

3回・佐助から北鎌倉へ(銭洗い弁天、天柱峰、東慶寺等)

4回・材木座を歩く(光明寺、和賀江島、材木座海岸等)

を予定しています。

略歴 鎌倉在住40年、地元警察署の防犯ボランティア活動を続ける 駒場松桜会鎌倉支部世話人 駒六会(駒6同期会)の「古都鎌倉を歩く」グループ世話人

定員 30名

受講料 2,000円、拝観料、入館料は受講者各自負担

会場 現地集合、JR鎌倉駅西口改札(江ノ電方面)前の時計台広場

日時 4/27(木) 5/18(木) 6/8(木) 6/29(木)
 10:30~15:30(予定)

C 講座

知られざる篆書の秘密と実習

●講師 ^{しおのこうじ}塩小路 ^{みつぎね}光孚(駒12)

内容 私の家は菅原道真公の子孫で代々篆刻や篆書を家業として参りました。この講座は、塩小路家の秘伝であった文字の解釈や篆書の書き方などを幾つかの篆書を選んだり、又は道真公の漢詩の中から選択して講義と篆書を書く実習を行いたいと考えております。神と人とを結び付けるという篆書を少しでも身近に感じていただくため京都から参上し、講座を担当させていただきます。ぜひ、篆書の奥義をお楽しみください。

略歴 菅原道真公38代裔 菅家塩小路篆刻道家元、菅家塩小路流書道家元、菅家塩小路流文道家元、幼少より家伝を学ぶ「心で観る字60」ほか著書多数、日本ペンクラブ会員

定員 40名

受講料 2,000円 テキスト代2,000円

会場 東館和室

日時 5/22(月) 6/19(月) 7/18(火) 8/21(月)
 10:30~12:30

D 講座

赤穂浪士の実像

●講師 ^{たにぐち}谷口 ^{しんこ}眞子(駒30)

内容 テレビや歌舞伎・文楽などで「忠臣蔵」が取り上げられる場合、史実を反映している部分はあるものの、ほとんどは「仮名手本忠臣蔵」などの創作によっています。本講座では赤穂浪士が書いた書状をはじめとする一次史料を使用して、浅野内匠頭による殿中刃傷から吉良邸討ち入りまでの推移を分析し、武士の名誉意識について考えます。

略歴 文学博士(早稲田大学) 早稲田大学講師(非常勤) 専門は日本近世史 2002年、日本歴史学会賞受賞『近世社会と法規—身分・名誉・実力行使』(吉川弘文館、2005) ほか著書多数

定員 45名

受講料 2,000円 テキスト代1,500円(予定)

会場 会議室

日時 7/15(土) 7/22(土) 7/29(土) 8/5(土)
 10:40~12:00

「駒場松桜会会報」第78号をお届けいたします。100周年も終了、今年は松桜会も新しい世紀に突入、これを機に会報もオールカラーにリニューアルしました。多くの皆様に読んでいただける松桜会会報を目指します。広報部員の顔ぶれも新しくなり、企画、文字の大きさなど数々の刷新を試みています。松桜会と会員の皆様をつなぐ唯一のパイプライン、駒場松桜会会報に皆様のご意見、ご協力をよろしくお願い致します。

松桜会理事長 横河利恵子